

駅弁の日

「4」と「10」を足すと「弁」の字に見え、10が弁当の「とう」で4月10日が駅弁の日。とは言うものの、日本で最初に駅弁が販売されたのは明治18年のこと。握り飯2ケと沢庵を竹の皮に包んだもので、5銭でした。春の行楽シーズンに合わせ、冒頭の理由でこの日が「駅弁の日」となっています。

最近では駅弁がブームとなり、百貨店やスーパーでも「駅弁大会」が開催されています。人気の駅弁は地域で異なりますが、富山の「ますのすし」、福井の「越前かにめし」、明石の「ひっぱりだこ」、仙台の「牛たん弁当」、九州の「かしわめし」などなど。

各駅には郷土の食材を使った楽しい駅弁がたくさんあります。春の行楽シーズン到来！桜の花をはじめ、色々な花が咲き乱れる季節、各地でさまざまな催しが開かれ、あちこちに出かける機会が増えますが、各地の駅弁食べ歩きというのも楽しめるのではないのでしょうか？

